

**名張市における**

# 令和3年度全国学力・学習状況調査

**結果・分析と今後の取組**

令和3年10月  
名張市教育委員会

調査開始後13回目（15年目）をむかえ、本年5月27日に、市内の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に行われた「全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）」の結果について、本市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等調査の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施するものです。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。これらのことを十分考慮し、今後の名張市の学校教育の一層の充実を図ってまいります。

○調査実施年月日 令和3年5月27日（木）

○調査実施児童生徒数 ※当日実施数

小学校（全6年生14小学校）：国語 653名、算数 653名、質問紙 653名

中学校（全3年生 5中学校）：国語 582名、数学 583名、質問紙 584名

## 1 各調査項目の平均正答率等の状況

単位 (%)

令和3年度 調査項目	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
名張市 ※1	63	68	62	55
全国比 ※2	97.4	96.9	96.0	96.2
H31との比較	-4.5	-2.2	-7.0	-7.5
三重県	64.1	69.3	63.0	57.7
全国	64.7	70.2	64.6	57.2

名張市 ≥ 全国・三重県

全 国 > 名張市 ≥ 三重県  
三重県 > 名張市 ≥ 全 国

全国・三重県 > 名張市

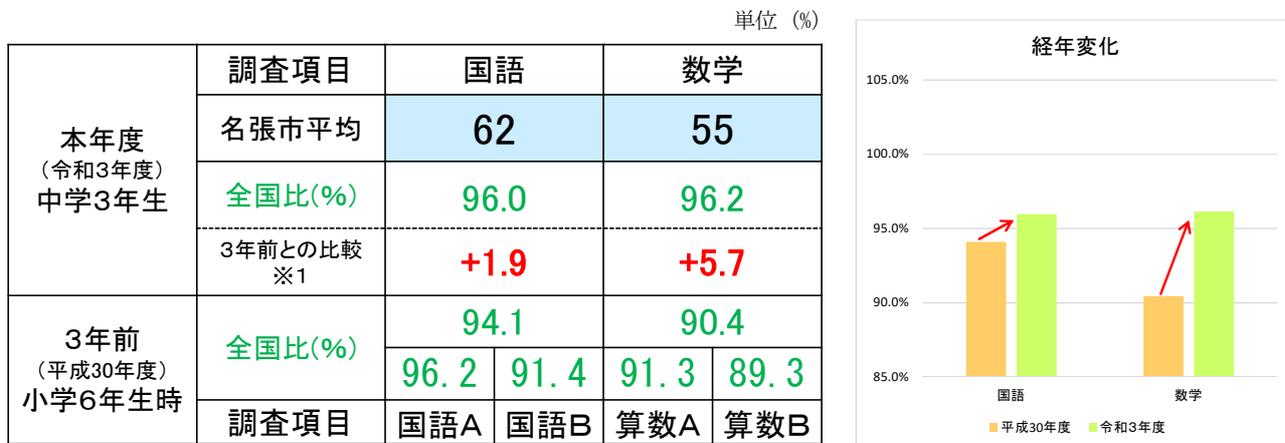
※1 名張市平均 ……文科省から整数値（小数第一位を四捨五入）により結果提供

※2 全国比 ……全国平均を100としたときの名張市平均の割合（得点率）

本年度、小学校はすべての教科で全国平均・三重県平均を下回りました。また、前回調査の全国比との比較でもすべての教科においてマイナスとなりました。中学校でもすべての教科で全国平均・三重県平均を下回り、前回調査の全国比との比較でもすべての教科においてマイナスとなりました。

### ＜現中学校3年生生徒の小学校6年生時との比較＞

現中学校3年生の調査対象生徒の3年前（小学校6年生時）の全国比を比較すると、国語、算数・数学ともに3年前より伸びており、このよい傾向は、ここ数年続いています。

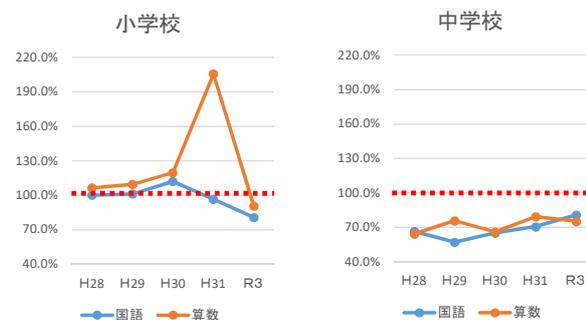


※1 3年前との比較・・・平成30年度のA問題とB問題の平均をとり算出

### ＜無解答率の状況＞（経年変化）

本年度、小学校では、国語、算数で無解答率が全国平均より低くなっています。ここ数年は、算数が全国平均より高い傾向でしたが、改善されました。

中学校では、毎年すべての調査項目で無解答率が全国平均より低い、よい傾向が続いています。



※A・Bが統合された国語、算数・数学は、B問題としてグラフ化  
 ※全国比で表示(全国平均を100としたときの名張市平均の割合)

	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和3年度		年度
	調査項目	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	名張市	全国	
小学校	国語A	6.19	5.29	2.36	2.77	4.02	3.51	5.99	6.21	3.50	4.34	国語
	国語B	4.62	4.62	4.36	4.31	4.21	3.76					
	算数A	1.78	1.79	1.45	1.59	2.59	2.48	5.47	2.66	2.39	2.64	算数
	算数B	7.84	7.37	7.02	6.42	9.48	7.93					
	理科	—	—	—	—	1.46	1.21	—	—	—	—	理科
中学校	国語A	1.34	2.05	1.54	2.43	2.34	3.15	1.86	2.60	3.52	4.36	国語
	国語B	2.92	4.39	2.17	3.80	1.96	3.01					
	数学A	3.99	6.30	4.14	6.25	1.83	3.28	5.79	7.31	8.39	11.15	数学
	数学B	9.45	14.69	8.88	11.71	8.33	12.61					
	理科	—	—	—	—	3.36	5.04	—	—	—	—	理科
	英語①	—	—	—	—	—	—	4.27	5.99	—	—	英語①

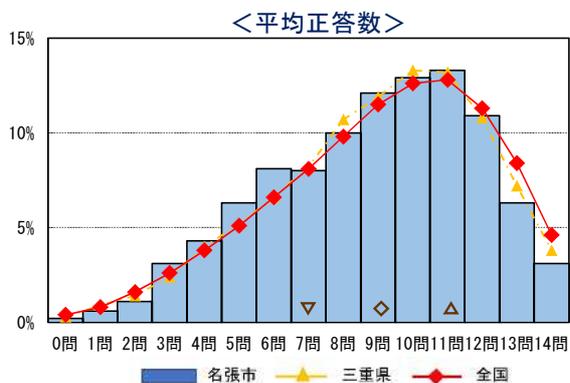
無解答率が全国と同じか低い

無解答率が全国より高い

## 2 各調査項目の結果概要

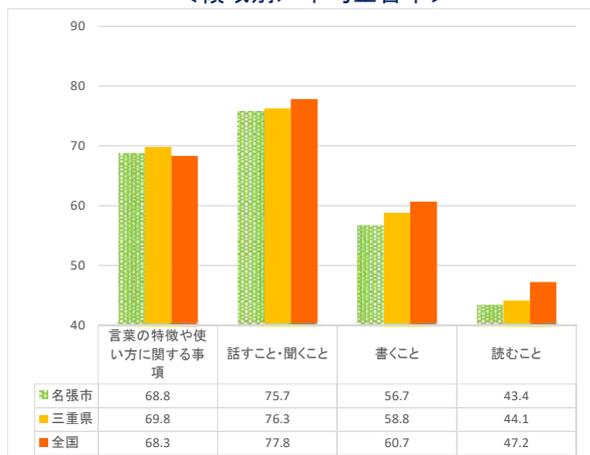
平均正答率…全国より良い傾向を(+)、そうでない傾向を(-)  
無解答率…全国より良い傾向を(-)、そうでない傾向を(+)で表しています

小学校		国語		
	名張市	全国	差	
平均正答率	63	64.7	-1.7	
無解答率	3.50	4.34	-0.84	

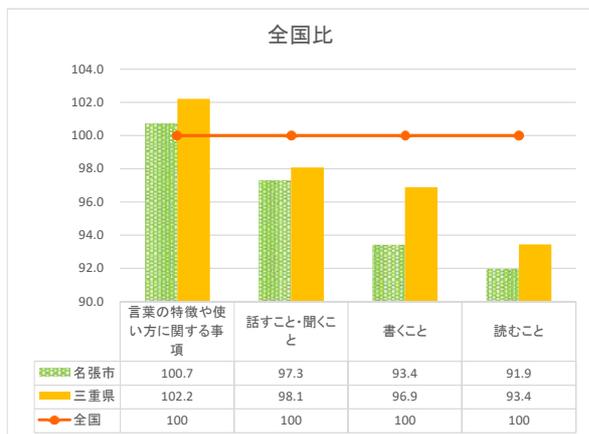


	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

### ＜領域別／平均正答率＞



★領域別で見ると、名張市では「話すこと・聞くこと」が一番高く、次いで「言葉の特徴や使いに関する事項」、「書くこと」、「読むこと」の順に低くなっている。



### ＜正答率が高かった問題の概要＞

2二 面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。  
85.9% [選択式]

### ＜正答率が低かった問題の概要＞

2四 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。  
25.4% [記述式]

2三 面ファスナーに関する【資料】を読み、メスラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。  
27.0% [記述式]

### ＜無解答率が高かった問題の概要＞

3三(1) ウ 丸山さんの【文章の下書き】の中の\_\_\_\_部ウを、漢字を使って書き直す。  
(つみ重ね) 11.2% [短答式]

3二 丸山さんの【文章の下書き】の\_\_\_\_部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す。  
8.7% [記述式]

### ＜学習指導に当たって＞

- 文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。(2四)
- 文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようにすることが大切である。(2三)
- 読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を読み返す中で、正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。(3三(1)ウ)
- 異なる立場の考えを取り上げ、それに対する自分の考えを明確にできるようにすることが大切である。例えば、他者にインタビューやアンケート調査などを行い、他者の視点や異なる立場の考えを取り上げることなどが考えられる。(3二)

令和3年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

国語 2 説明的な文章を読み、分かったことをまとめる（「面ファスナー」）

三 相川さんは、「資料」の——部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 「資料」の中の文章と「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

問題の趣旨

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。

正答率 25.4%  
無解答率 5.1%

問題の趣旨

目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。

正答率 27.0%  
無解答率 4.1%



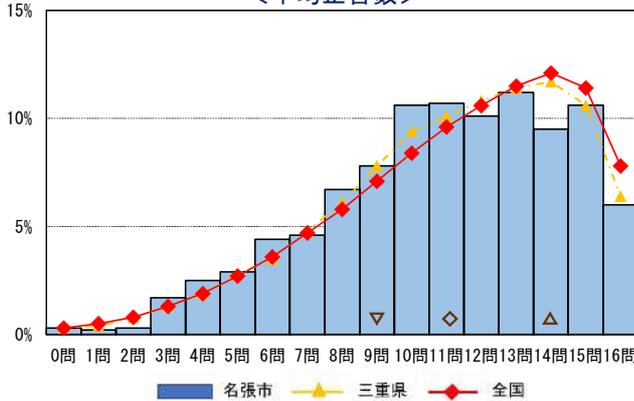
右の三の問題では、満たすべき3つの条件が示されている。中でも1つ目の条件からは、①「ヒントになったこと」と、②「面ファスナーのくっつく仕組み」が分かるように書くことが求められている。実際、①は満たしているが、②が満たされていない誤答は、45.0%を占めている。

また、左の四の問題の1つめの条件では、③「面ファスナーのよさ」を取り上げて、④「国際ステーションでの使われ方」について書くことが求められている。実際、④は満たされているが、③が満たされていない誤答は、46.9%を占めている。

図から必要な情報を見付けたり、目的に応じて中心となる語や文を見付けて要約したりすることに課題があると考えられる。図表などを文章と結び付けて読み、必要な情報を見付ける学習指導を積み重ねていく必要がある。

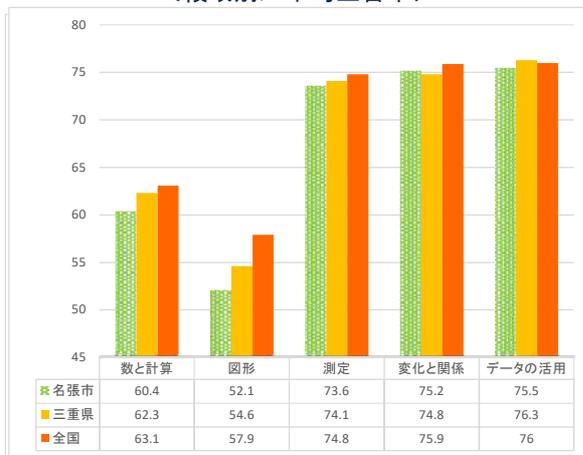
小学校		算数		
	名張市	全国	差	
平均正答率	68	70.2	-2.2	
無解答率	2.39	2.64	-0.25	

<平均正答数>



	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	14.0問	14.0問	14.0問
◇ 第2四分位	11.0問	12.0問	12.0問
▽ 第1四分位	9.0問	9.0問	9.0問

<領域別／平均正答率>



★領域別で見ると、名張市では「データの活用」、「変化と関係」が高く、次いで「測定」、「数と計算」、「図形」の順に低くなっている。



<正答率が高かった問題の概要>

3 (1) 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ。 96.3% [選択式]

<正答率が低かった問題の概要>

2 (3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。 41.8% [記述式]

2 (1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く。 45.5% [短答式]

<無解答率が高かった問題の概要>

3 (4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。 12.6% [記述式]

4 (3) 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。 10.6% [記述式]

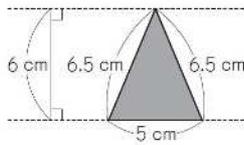
<学習指導に当たって>

- 図形の面積の学習では、複数の図形を組み合わせた図形について、面積を求めるために必要な辺の長さや高さを、組み合わせる図形の辺の長さや高さから求めるなど、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えることができるようにすることが重要である。その際、面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることが大切である。(2 (3))
- 公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに注目すると、面積を求めることができるのかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることも重要である。(2 (1))
- 複数のデータについて項目の割合を比較するために、帯グラフからそれぞれの割合を読み取ることができるようになることが重要である。また、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるようになることも重要である。(3 (4))
- 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数を用いた倍の意味を捉え直して、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるようにすることが重要である。(4 (3))

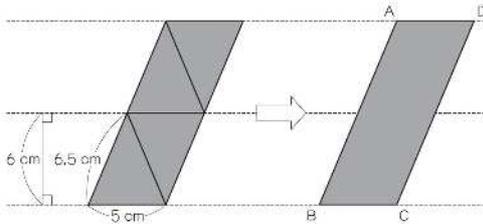
令和3年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

**算数2** 図形の構成の仕方に着目した図形の計量についての考察(三角形や四角形の面積)。

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を2つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何cm<sup>2</sup>になるのかも書きましょう。

正答率 41.8%  
無解答率 4.4%

**問題の趣旨**

複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる。

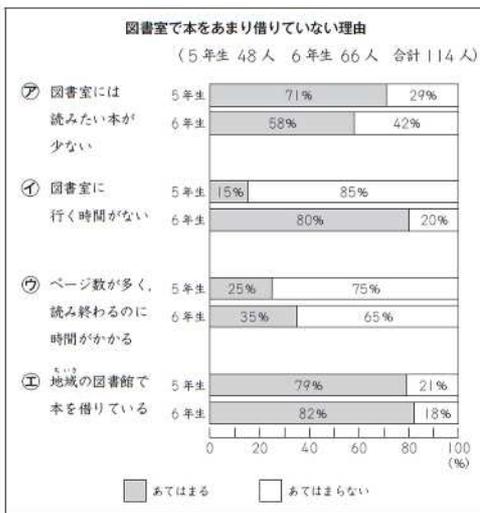
**算数3** 統計的な問題解決の方法を用いた考察(図書アンケート)

(4) 次に、ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書室で本をあまり借らなかった114人に着目しました。



図書室で本をあまり借りていない理由について、5年生と6年生で、ちがいがあのでしょうか。

そこで、114人分のアンケート調査の結果を、5年生と6年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、左のグラフをもとに、気づいたことについて話合っています。

そうたさんとあやのさんは、左のグラフの中の⑦から⑤までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

正答率 47.9%  
無解答率 12.6%

**問題の趣旨**

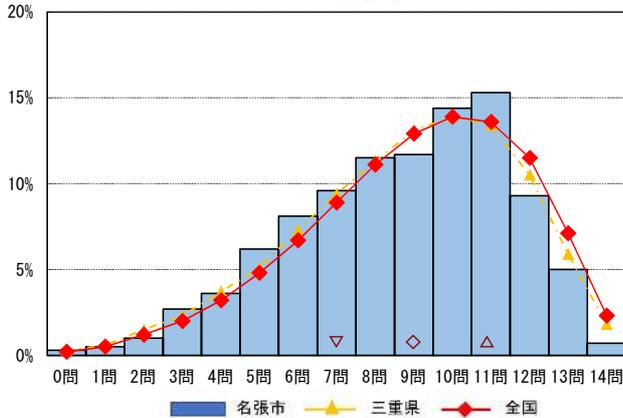
帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。

上段の2の問題では、【求め方】 $6.5 \times 2 = 13$ 、 $13 \times 5 = 65$ 【面積】 $65 \text{ (cm}^2\text{)}$ とした誤答が10.7%を占めている。平行四辺形ABCDの斜面の長さを高さとして捉えていると考えられる。中段の3の問題では、「(エ)地域の図書館で本を借りている」との誤答が15.2%を占めている。「あてはまる」と答えた人の割合の違が一番大きい項目を、「あてはまる」と答えた人の割合が大きい項目と捉えていると考えられる。

平行四辺形の面積を求める公式を導く際に、平行四辺形を長方形に等積変形して面積を求める活動が考えられる。その際、長方形の縦と横の辺が、元の平行四辺形の底辺と高さになっていることから、高さが底辺に垂直になっていることに着目できるようにすることが大切である。さらに、底辺を決めたときに、それに対応する高さがどこになるのかを印を付けるなどして、底辺と高さの位置関係を意識できるようにすることも大切である。

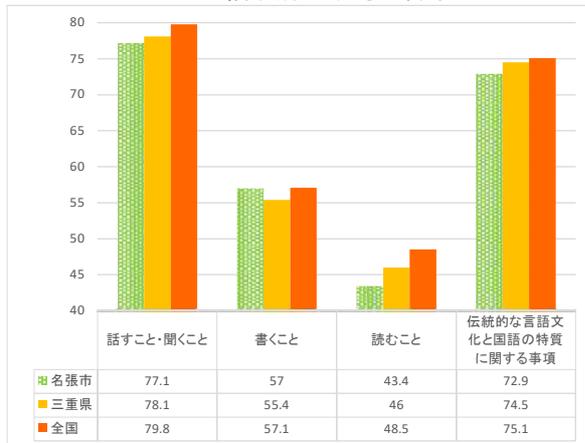
中学校		国語	
	名張市	全国	差
平均正答率	62	64.6	-2.6
無解答率	3.52	4.36	-0.84

<平均正答数>

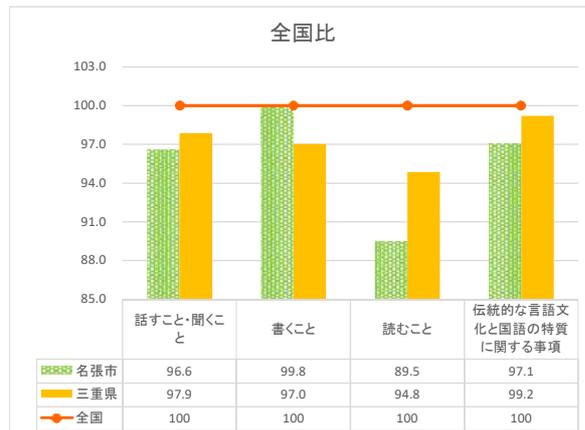


	名張市	三重県	全国
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

<領域別/平均正答率>



★領域別で見ると、名張市では「話すこと・聞くこと」が一番高く、次いで「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「書くこと」、「読むこと」の順に低くなっている。



<正答率が高かった問題の概要>

4一① 漢字を読む。(伸ばして) 98.1% [短答式]

1二 話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。 91.9% [選択式]

<正答率が低かった問題の概要>

2一 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。 20.8% [選択式]

4三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する。 35.7% [短答式]

3一 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する。 38.1% [選択式]

<無解答率が高かった問題の概要>

3四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。 18.6% [記述式]

<学習指導に当たって>

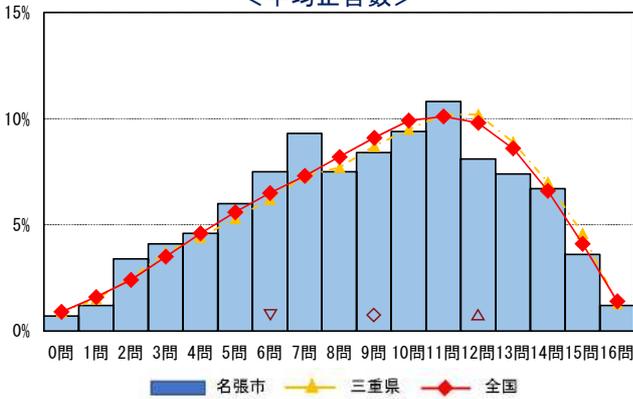
- 目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整えるように指導する必要がある。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるように指導することが大切である。(2一)
- 言葉遣いについては、小学校での学習を踏まえ、敬語も含め広く相手や場に応じた言葉遣い全般について指導する必要がある。その際、公的な場面で改まった言葉遣いをするもののほか、会話をしたり手紙を書いたりする際に相手に応じた語句を選んで用いることなどにも留意するように指導することが大切である。(4三)
- 文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要がある。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするように指導することが大切である。(3四)

令和3年度全国学力・学習状況調査「報告書」より



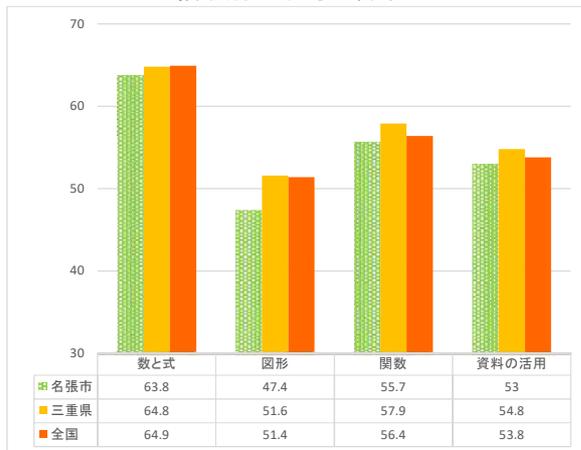
中学校		数学	
	名張市	全国	差
平均正答率	55	57.2	-2.2
無解答率	8.39	11.15	-2.76

<平均正答数>

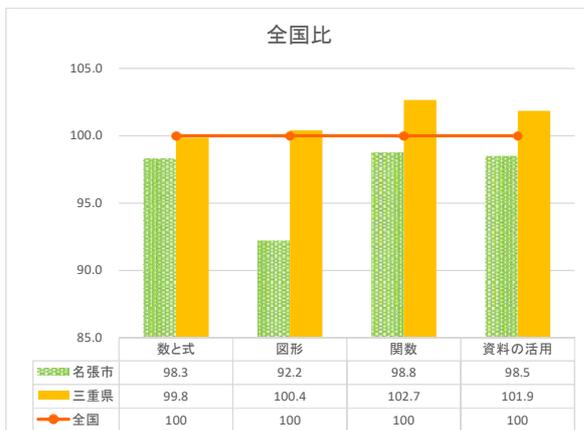


	貴教育委員会	三重県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	6.0問

<領域別/平均正答率>



★領域別で見ると、名張市では「数と式」が一番高く、次いで「関数」、「資料の活用」、「図形」の順に低くなっている。



<正答率が高かった問題の概要>

- 7 (1) 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める。  
92.8% [短答式]
- 5 反復横とびの記録の中央値を求める。  
85.6% [短答式]

<正答率が低かった問題の概要>

- 7 (2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。  
25.6% [記述式]
- 6 (3) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する。  
28.8% [記述式]

<無解答率が高かった問題の概要>

- 8 (3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。  
24.2% [記述式]
- 9 (3)  $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く。  
22.1% [短答式]

<学習指導に当たって>

- 日常的な事象における伴って変わる二つの数量について、観察や操作、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現することを通して、その二つの数量の関係を捉えることができるように指導することが大切である。また、様々な問題を数学を活用して解決できるようにする際に、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」とその「用い方」について考え、説明できるように指導することが大切である。(7 (2))
- 数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導することが大切である。(6 (3))
- データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導することが大切である。(8 (3))
- 条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を取り入れ、ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を捉え、それを数学的に表現することができるように指導することが大切である。(9 (3))

令和3年度全国学力・学習状況調査「報告書」より

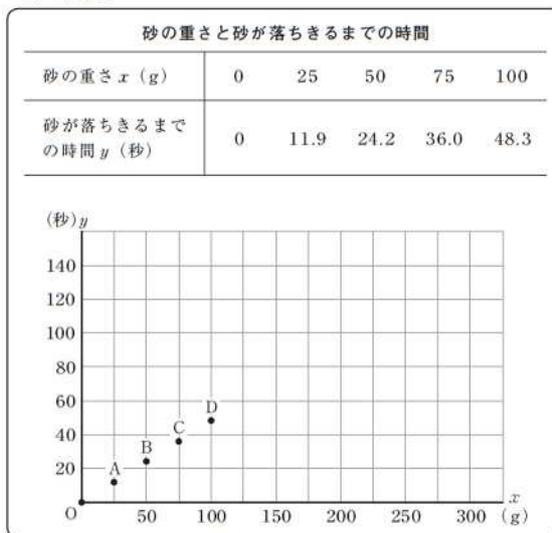
数学7 日常的な事象の数学化と問題解決の方法（砂時計）

7 学級委員の健斗さんは、2分間スピーチの時間をはかるための砂時計をペットボトルで作りました。その砂時計は、ペットボトルに砂を入れ、砂を通すための穴をあけた厚紙をペットボトルの間にはさんで作ります。

健斗さんは、ペットボトルに入れる砂の重さを決めると、砂が落ちきるまでの時間が決まると考えました。そこで、砂の重さが  $x$  g のときに、砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間を  $y$  秒として調べ、その結果を、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



調べた結果



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) 健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。

正答率 25.6%  
無解答率 17.8%



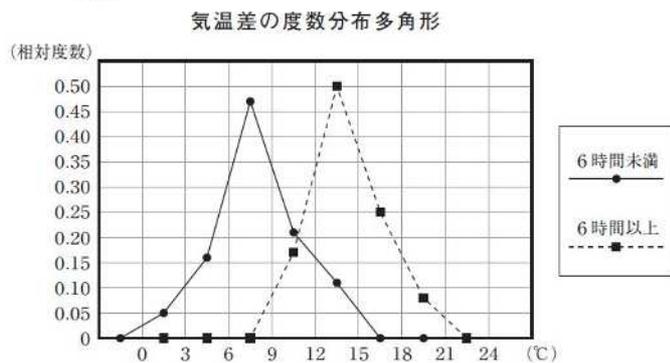
問題の趣旨

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

指導に当たっては、「砂が落ちきるまでの時間」は「砂の重さ」に比例するとみなした上で、例えばグラフを用いて問題を解決する場合を取り上げ、その方法について、原点Oを通る直線のグラフをかくこと（「用いるもの」と、 $y$ 座標が120のときの $x$ 座標を読むこと（「用い方」）の両方を指摘し、問題解決の方法を的確に説明する活動を取り入れることが考えられる。

数学8 データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（キャンプ場の気温）

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

気温差の度数分布表

気温差(°C)	6時間未満		6時間以上	
	度数(□)	相対度数	度数(□)	相対度数
0 ~ 3	1	0.05	0	0.00
3 ~ 6	3	0.16	0	0.00
6 ~ 9	9	0.47	0	0.00
9 ~ 12	4	0.21	2	0.17
12 ~ 15	2	0.11	6	0.50
15 ~ 18	0	0.00	3	0.25
18 ~ 21	0	0.00	1	0.08
合計	19	1.00	12	1.00

正答率 7.9%  
無解答率 24.2%

問題の趣旨

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。



指導に当たっては、データ分布の比較から検討し、判断する場面を設定することが考えられる。その際、作った二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合うことが考えられる。その上で、見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れることが考えられる。

### 3—① 児童生徒質問紙調査結果

「児童生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。

ここでは、名張市平均を前回調査の平成31年度と比較したときの増減を矢印で、全国平均と比較したときの差を数値で示しています。

#### 小学校

※数字は、質問のあとに記載の( )内の選択肢で回答した割合を表しています。

質問事項		年度			
		H31	増減	R3	
学習習慣等	家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか(当てはまる)	名張市	30.0	↓	23.3
		全国	33.1		31.2
		全国との差	-3.1		-7.9
	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む(2時間以上勉強する)	名張市	21.7	↓	18.7
		全国	29.3		26.9
		全国との差	-7.6		-8.2
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む(2時間以上勉強する)	名張市	—	—	19.0
		全国	—		29.7
		全国との差	—		-10.7
国語	国語の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	25.3	↓	18.5
		全国	26.5		22.7
		全国との差	-1.2		-4.2
	国語の勉強は大切だと思いますか(当てはまる)	名張市	68.5	↑	75.7
		全国	68.6		69.6
		全国との差	-0.1		+6.1
国語の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	49.5	↓	41.5	
	全国	41.2		39.5	
	全国との差	+8.3		+2.0	
算数	算数の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	34.4	↑	39.1
		全国	40.6		40.5
		全国との差	-6.2		-1.4
	算数の勉強は大切だと思いますか(当てはまる)	名張市	73.5	↑	79.2
		全国	75.6		76.2
		全国との差	-2.1		+3.0
算数の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	53.6	↑	54.8	
	全国	49.3		51.6	
	全国との差	+4.3		+3.2	
道徳	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか(当てはまる)	名張市	45.3	↓	41.0
		全国	42.1		45.6
		全国との差	+3.2		-4.6
ICT	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	名張市	37.6	↑	60.7
		全国	30.6		40.1
		全国との差	+7.0		+20.6

質問事項		年度			
		H31	増減	R3	
学習習慣等	家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか(当てはまる)	名張市	15.4	↗	18.8
		全国	14.9		19.4
		全国との差	+0.5		-0.6
	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む(2時間以上勉強する)	名張市	28.2	↗	29.8
		全国	35.5		41.8
		全国との差	-7.3		-12.0
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか ※学習塾や家庭教師含む(2時間以上勉強する)	名張市	—	—	38.0
		全国	—		53.5
		全国との差	—		-15.5
国語	国語の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	20.3	↗	22.3
		全国	24.6		23.5
		全国との差	-4.3		-1.2
	国語の勉強は大切だと思いますか(当てはまる)	名張市	56.8	↗	63.9
		全国	59.0		60.0
		全国との差	-2.2		+3.9
	国語の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	33.4	↗	33.7
		全国	28.4		31.5
		全国との差	+5.0		+2.2
数学	数学の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	35.8	↘	30.8
		全国	30.7		31.2
		全国との差	+5.1		-0.4
	数学の勉強は大切だと思いますか(当てはまる)	名張市	53.9	↘	47.8
		全国	49.8		49.3
		全国との差	+4.1		-1.5
	数学の授業の内容はよく分かりますか(当てはまる)	名張市	45.8	↘	37.8
		全国	34.8		35.6
		全国との差	+11.0		+2.2
英語	英語の勉強は好きですか(当てはまる)	名張市	32.0	↘	28.9
		全国	29.0		28.7
		全国との差	+3.0		+0.2
	1、2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか(当てはまる)	名張市	—	—	26.0
		全国	—		30.5
		全国との差	—		-4.5
	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)(当てはまる)	名張市	—	—	15.9
		全国	—		16.5
		全国との差	—		-0.6
道徳	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(当てはまる)	名張市	38.6	↗	44.2
		全国	34.0		48.8
		全国との差	+4.6		-4.6
ICT	1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	名張市	12.1	↗	43.2
		全国	30.6		33.4
		全国との差	-18.5		+9.8

小学校

※数字は、質問のあとに記載の( )内の選択肢で回答した割合を表しています。

質問事項		年度			
		H31	増減	R3	
生活習慣	朝食を毎日食べていますか(当てはまる)	名張市	86.4	↓	85.0
		全国	86.7		85.8
		全国との差	-0.3		-0.8
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(当てはまる)	名張市	33.8	↓	32.0
		全国	38.9		38.3
		全国との差	-5.1		-6.3
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(当てはまる)	名張市	55.2	↓	51.3
		全国	58.7		55.0
		全国との差	-3.5		-3.7
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※コンピュータ、スマホ等含む(2時間以上)	名張市	—	—	53.3
		全国	—		49.4
		全国との差	—		+3.9
自己有用感等	自分には、よいところがあると思いますか(当てはまる)	名張市	37.2	↓	33.4
		全国	38.8		36.2
		全国との差	-1.6		-2.8
	将来の夢や目標を持っていますか(当てはまる)	名張市	62.5	↓	60.5
		全国	65.9		60.2
		全国との差	-3.4		+0.3
人が困っているときは、進んで助けていますか(当てはまる)	名張市	39.3	↑	43.8	
	全国	40.4		43.6	
	全国との差	-1.1		+0.2	
規範意識	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(当てはまる)	名張市	86.9	↑	88.8
		全国	85.0		84.1
		全国との差	+1.9		+4.7
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか(当てはまる)	名張市	71.9	↑	74.1
		全国	74.7		75.4
		全国との差	-2.8		-1.3
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか(当てはまる)	名張市	—	—	34.8	
	全国	—		38.0	
	全国との差	—		-3.2	
地域貢献	今住んでいる地域の行事に参加していますか(当てはまる)	名張市	30.8	↓	25.9
		全国	37.2		26.7
		全国との差	-6.4		-0.8
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(当てはまる)	名張市	13.5	↑	14.9
全国		18.9		17.8	
全国との差		-5.4		-2.9	
読書習慣	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか ※教科書参考書、漫画雑誌除く(30分以上)	名張市	37.1	↓	34.3
		全国	39.8		37.4
		全国との差	-2.7		-3.1

中学校

※数字は、質問のあとに記載の( )内の選択肢で回答した割合を表しています。

	質問事項	年度			
		H31	増減	R3	
生活習慣	朝食を毎日食べていますか(当てはまる)	名張市	85.9	↓	82.9
		全国	82.3		81.8
		全国との差	+3.6		+1.1
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(当てはまる)	名張市	34.1	↑	36.0
		全国	33.6		36.3
		全国との差	+0.5		-0.3
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(当てはまる)	名張市	54.4	↑	56.8
		全国	57.0		57.6
		全国との差	-2.6		-0.8
	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※コンピュータ、スマホ等含む(2時間以上)	名張市	—	—	61.6
		全国	—		57.0
		全国との差	—		+4.6
自己有用感等	自分には、よいところがあると思いますか(当てはまる)	名張市	31.2	↑	36.6
		全国	29.0		34.5
		全国との差	+2.2		+2.1
	将来の夢や目標を持っていますか(当てはまる)	名張市	45.1	↓	42.6
		全国	44.9		40.5
		全国との差	+0.2		+2.1
人が困っているときは、進んで助けていますか(当てはまる)	名張市	35.4	↑	38.7	
	全国	34.6		41.6	
	全国との差	+0.8		-2.9	
規範意識	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(当てはまる)	名張市	79.8	↑	80.7
		全国	78.3		81.4
		全国との差	+1.5		-0.7
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか(当てはまる)	名張市	74.7	↑	78.8
		全国	71.1		74.3
		全国との差	+3.6		+4.5
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか(当てはまる)	名張市	—	—	27.7	
	全国	—		30.9	
	全国との差	—		-3.2	
地域貢献	今住んでいる地域の行事に参加していますか(当てはまる)	名張市	15.1	↓	14.9
		全国	21.0		16.3
		全国との差	-5.9		-1.4
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(当てはまる)	名張市	11.2	↓	9.6
全国		11.5		12.6	
全国との差		-0.3		-3.0	
読書習慣	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか ※教科書参考書、漫画雑誌除く(30分以上)	名張市	26.2	↓	25.2
		全国	27.0		28.9
		全国との差	-0.8		-3.7

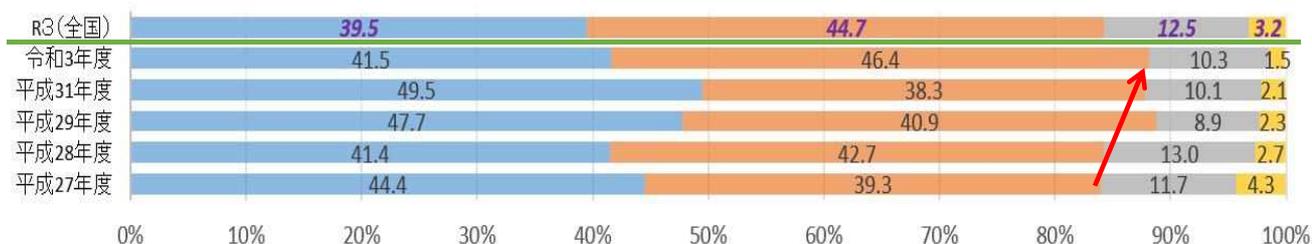
# 学校では

わかる授業のための授業改善に取り組んでいます。

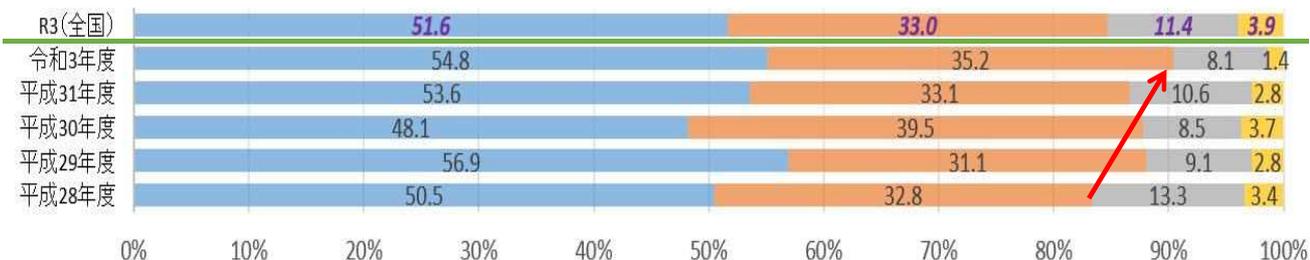
質問項目：授業の内容はよく分かりますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる  
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

## 小学校国語



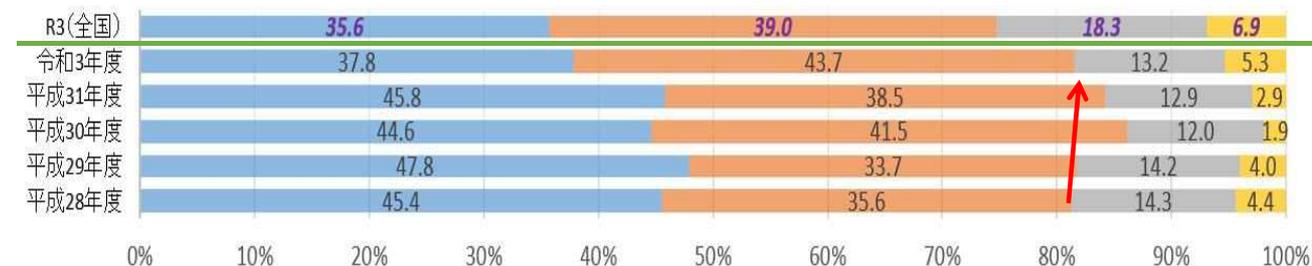
## 小学校算数



## 中学校国語



## 中学校数学



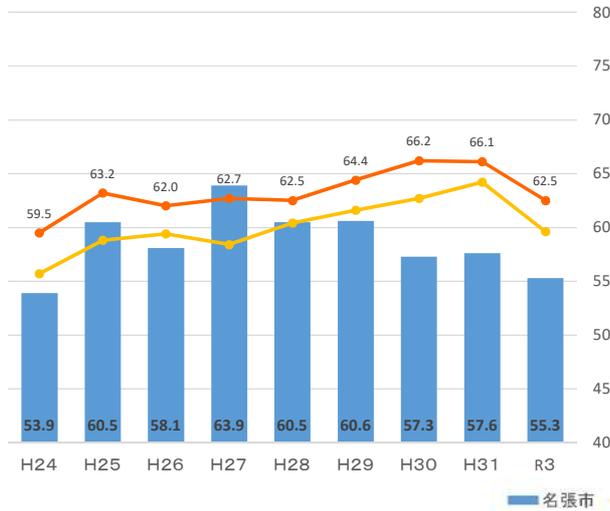
肯定的な回答割合が、すべての教科で80%を越えており、経年で見ても増加傾向です。全国との比較では、すべての教科で名張市は上回りました。今後も、子どもたちが“わかる”と実感できる授業づくりに努め、主体的に学習に取り組めるよう授業改善を図り、学力向上につなげます。

# 家庭では

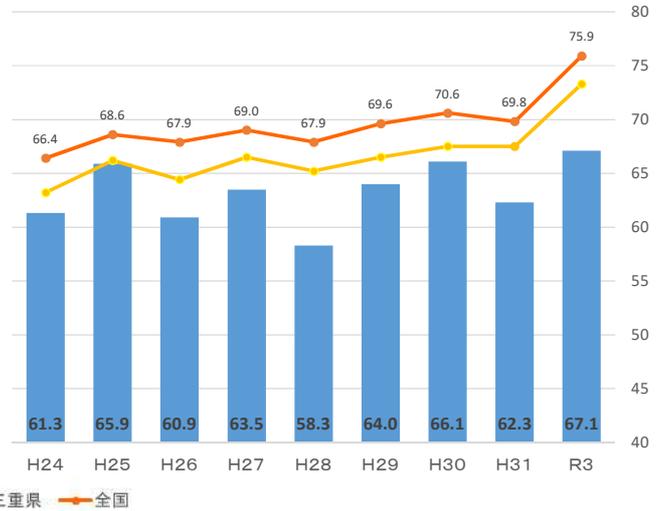
家庭学習や読書の習慣化に努める必要があります。

質問項目：1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(1時間以上)※学習塾、家庭教師含む

小学校 平日勉強



中学校 平日勉強



質問項目：1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。(30分以上)※教科書、参考書、漫画、雑誌除く

小学校 平日読書



中学校 平日読書



家庭学習が「1時間以上」と回答した児童生徒の割合が全国平均より低い傾向が続いています。学校での学習内容を定着させるために、家庭学習は重要な意味をもちます。学校の宿題だけではなく、自主学習にも意欲的かつ継続的に取り組めるよう、ICT機器等も活用し、学校と家庭が連携しながら取り組んでいく必要があります。

また、読書時間が「30分以上」の割合も同様に低い結果となっています。活字離れが進んでいる昨今、語彙力を増やし、読み書きの力をつけるために読書はとても有効です。学校では、朝読書や読書週間の期間を設けるなど、工夫して取り組んでいます。PTAや学校運営協議会等の学校関係組織とも連携しながら、家庭でも読書に取り組む機会を増やしていく必要があります。

### 3-② 児童生徒質問紙調査結果と教科の平均正答率との関係<クロス集計>

「児童生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。

ここでは、「児童生徒質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

#### グラフの見方

<例示>

質問事項

○国語の授業の内容はよく分かりますか。

<グラフ内の数値は(%)>

同じ質問に対し、  
ページの左半分は小学校  
右半分は中学校のグラフです。

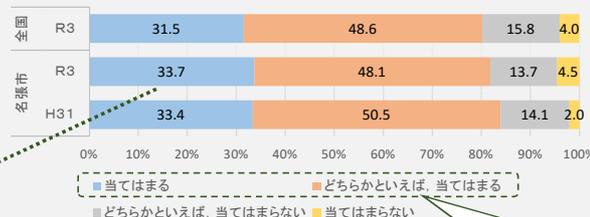
中学校

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢別の割合を、そのまま表しています。R3名張市平均(中段)を、全国平均(上段)、H31名張市平均(下段)とそれぞれ比較することができます。

「国語の授業の内容はよく分かりますか」(当てはまる)と回答した生徒は、  
名張市で 33.7%  
全国で 31.5%です。

このグラフでは、児童生徒が回答した選択肢と、平均正答率との関係を、クロス集計しています。

右のグラフで、「当てはまる」と回答した生徒の、国語の平均正答率は、  
名張市で 64.5%です。



肯定的回答はこの2つの合計



「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、「国語」で見ると、  
「当てはまる」と回答した名張市の生徒の平均正答率は、64.5%、  
「当てはまらない」と回答した名張市の生徒の平均正答率は、51.4%で  
13.1%の開きがあり、  
「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している生徒ほど、  
「国語」の調査問題の正答率も高いということがわかります。

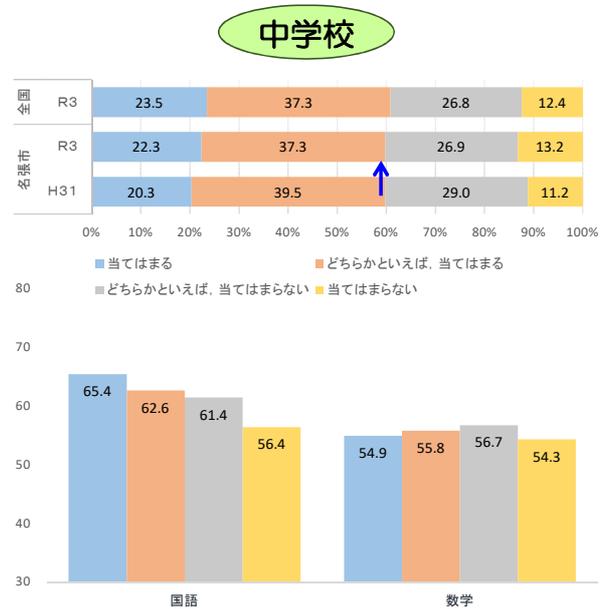
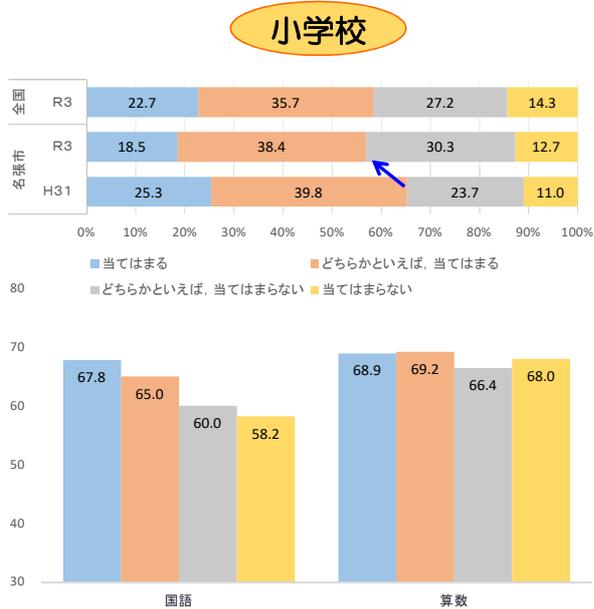
同様に他の調査問題も見ると、「数学」では、9.5%の開きがあり、  
「肯定的な回答をしている生徒ほど、平均正答率が高い」という傾向が、顕著に表れています。

※いずれのグラフにも無回答率は掲載していません。

また、質問によっては、回答項目(時間帯等)が多いため、傾向がわかる回答項目(時間帯)に関してのみ、掲載しています。そのため、合計数値が100%になっていない場合があります。

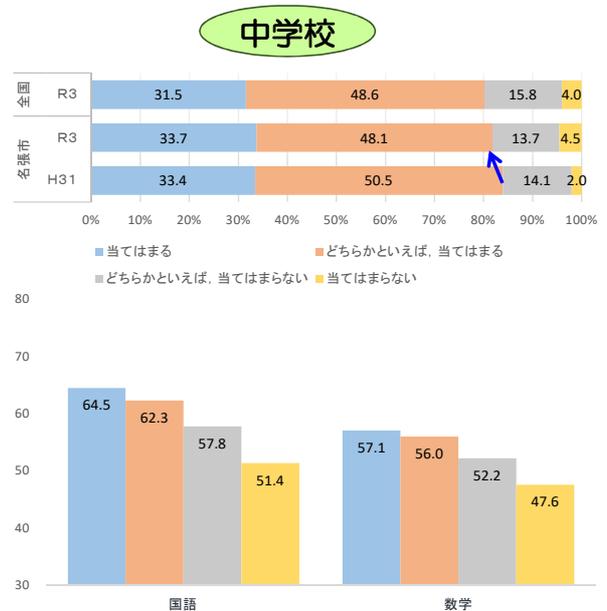
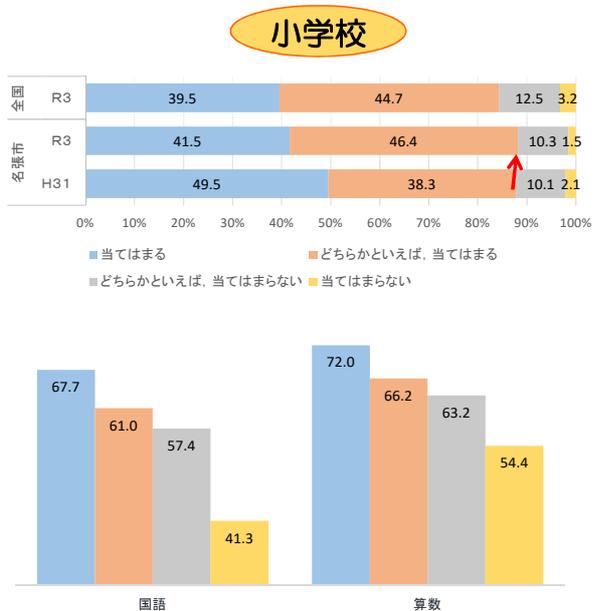
## (1) 学校教育に関すること

### ①国語の勉強は好きですか。



👉 肯定的回答が、小・中学校ともに全国より低く、前回調査よりも減少しています。

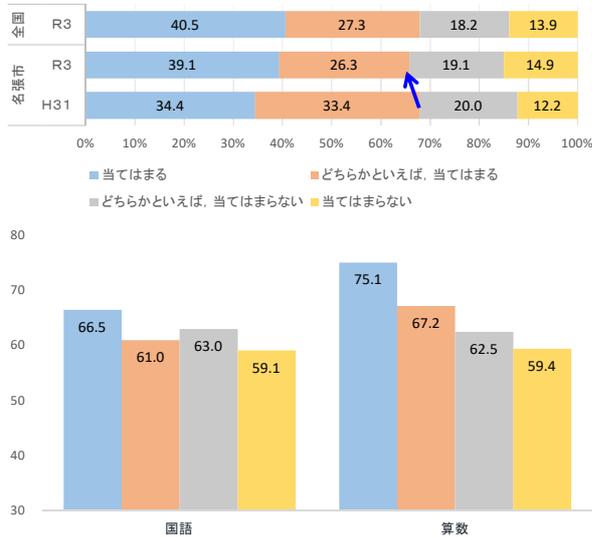
### ②国語の授業の内容はよく分かりますか。



👉 肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高い、よい傾向が続いています。前回調査と比べると小学校ではやや増加し、中学校では減少しています。

①算数・数学の勉強は好きですか。

小学校



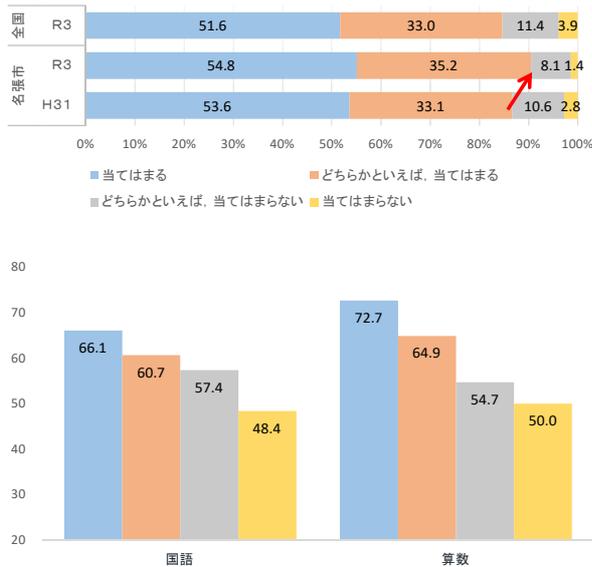
中学校



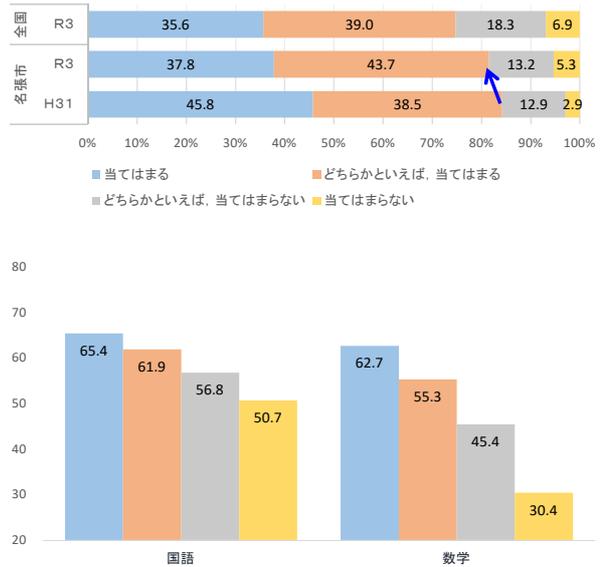
肯定的回答が、全国と比べると小学校では低く、中学校ではやや高い結果がみられ、前回調査と比べると、小・中学校とも減少しています。

②算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

小学校



中学校

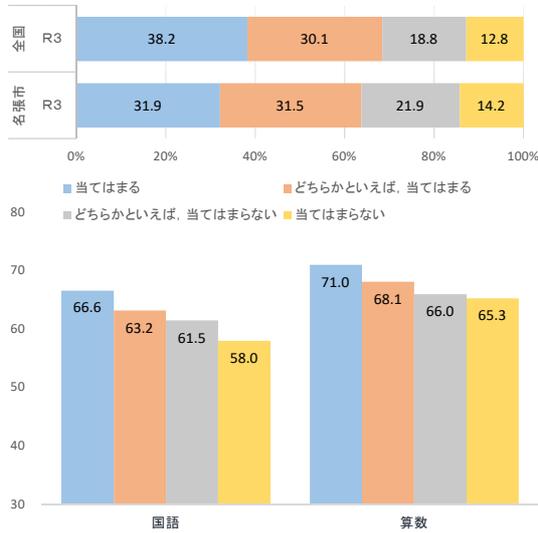


肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高い、よい傾向が続いています。前回調査と比べると、小学校では増加し、中学校で減少しています。

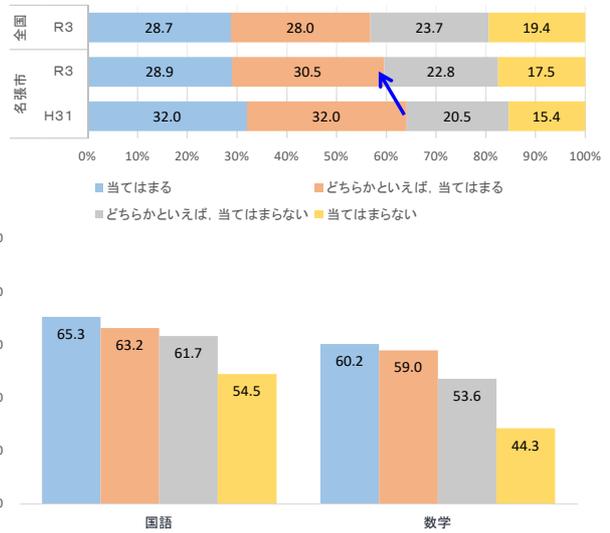
③英語の勉強は好きですか。

※英語に関する質問は、平成31年度に中学校、令和3年度小学校に新設されました。

小学校



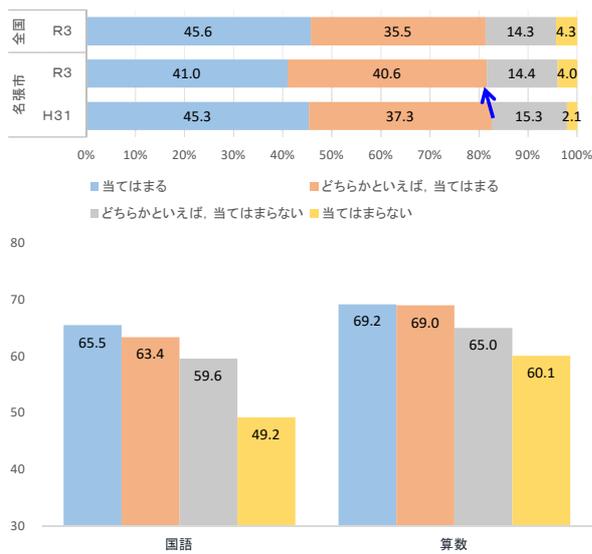
中学校



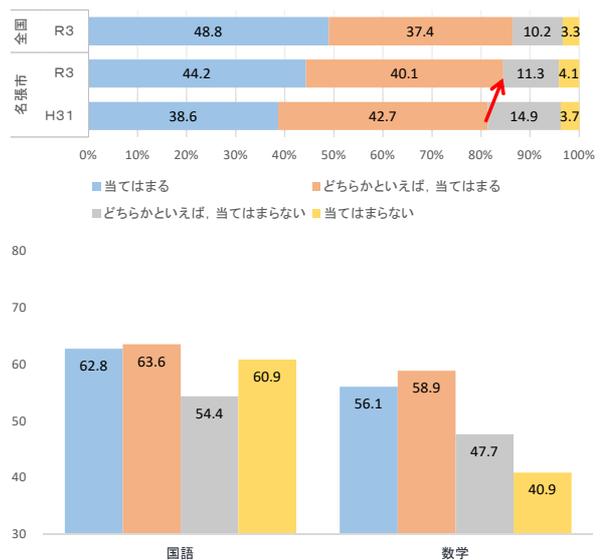
新設された質問ですが、肯定的回答が全国と比べると小学校では低く、中学校では高い結果となっています。前回調査と比べると中学校で減少しています。

⑤道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。

小学校



中学校



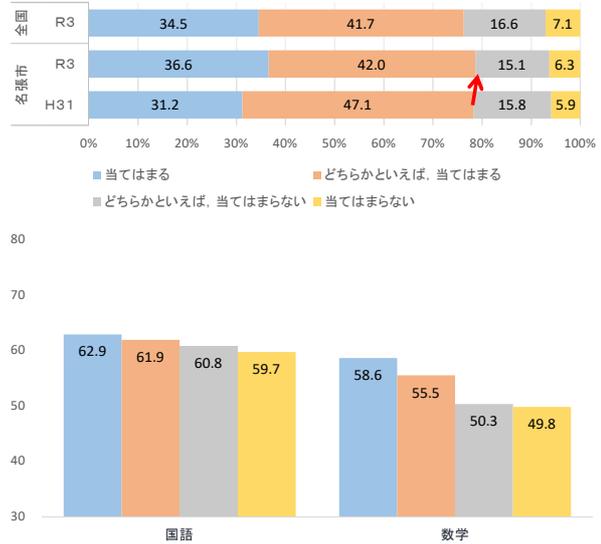
肯定的回答が、全国と比べると、小学校では高く、中学校では低い結果となっています。前回調査と比べると、小学校で減少し、中学校で増加しています。

⑥自分には、よいところがあると思いますか。

小学校



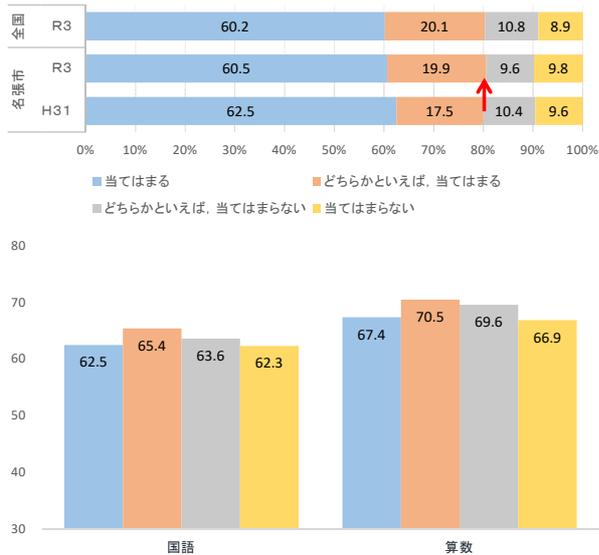
中学校



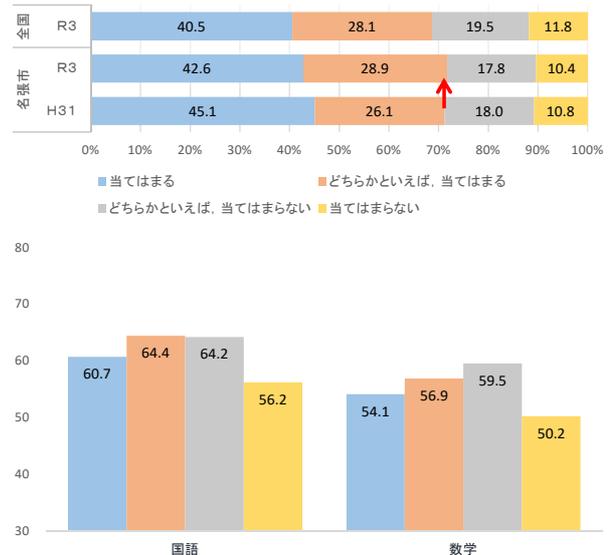
肯定的回答が全国と比べると、小学校でやや低く、中学校で高くなっています。前回調査より小学校で減少し、中学校で増加しています。自己肯定感も正答率と相関があります。

⑦将来の夢や目標を持っていますか。

小学校



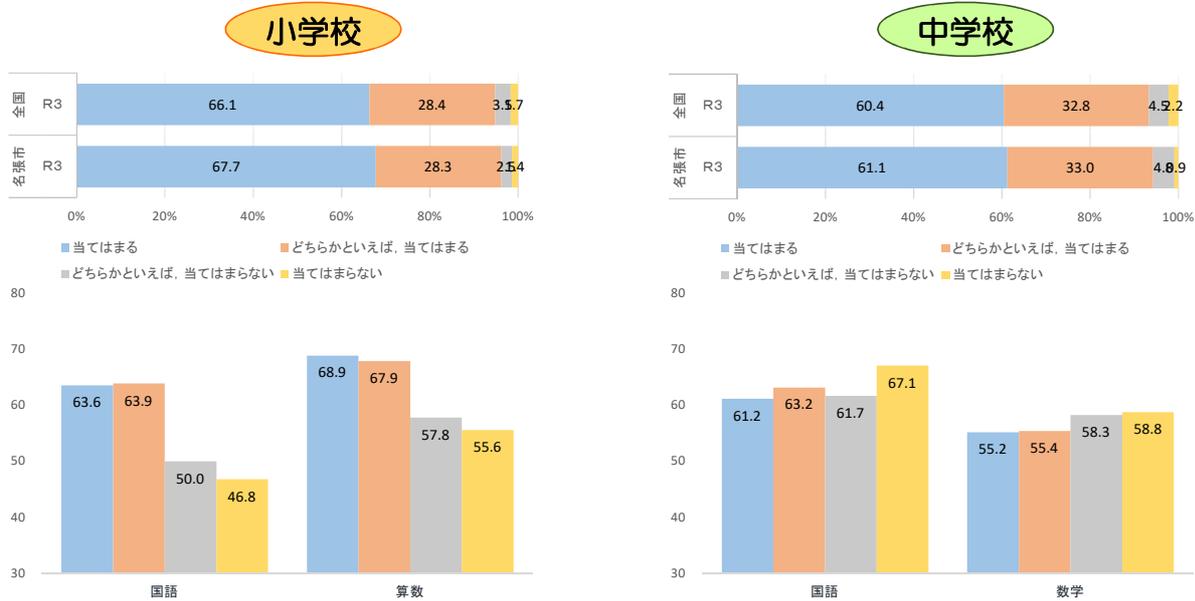
中学校



肯定的回答が小・中学校ともに、全国より高くなっています。前回調査と比べると小・中学校とも増加しています。

⑧学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

※令和3年度に新設されました。



肯定的回答が、小・中学校ともに90%を超え、全国とほぼ同様の結果となっています。

【学校教育に関する特徴的なこと】

- ・国語、算数・数学に関しては、「勉強は好きですか。」の質問は、中学校数学で、肯定的な回答割合が全国平均よりやや高い。「授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対して、小・中学校とも、全校平均より高い、よい傾向が続いている。
- ・英語に関しては、「勉強が好きですか。」の質問は、中学校で肯定的な回答割合が全国平均より高い。
- ・道徳に関しては、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいるか。」の質問に対して、小学校で肯定的な回答割合が全国平均よりやや高い。
- ・「自分にはよいところがある」と感じている生徒の割合が、中学校では前回調査よりやや増加し全国より高い。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問は、小・中学校とも肯定的な回答割合が全国平均より高い。

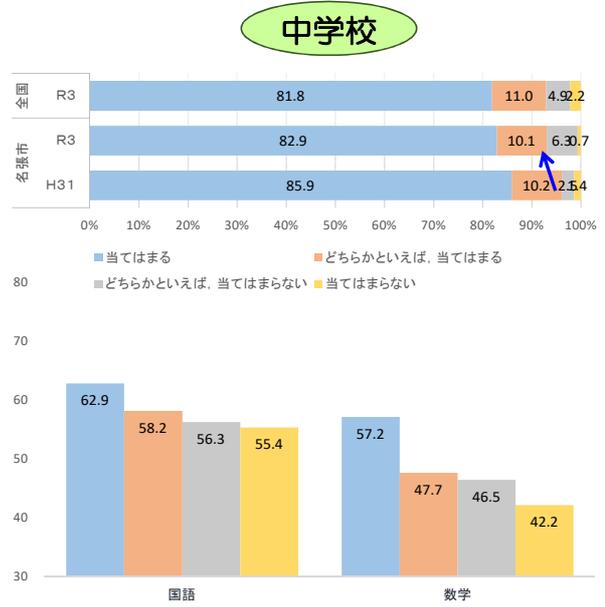
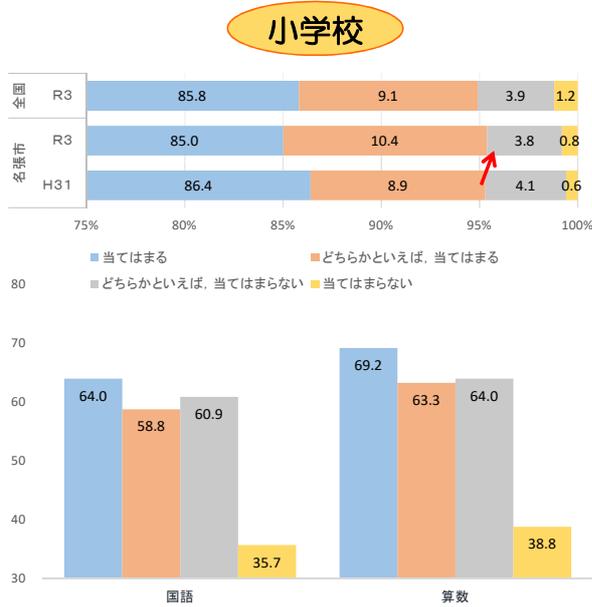
各教科について、「好きですか」、「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対する回答と、各調査項目の平均正答率との間には相関関係があります。しかし、本市の調査結果からは、「よく分かる」という回答が全国を上回っていても、平均正答率は全国より低い調査項目があります。学習内容の定着につながるよう授業改善を図り、学校総体での指導方法の研究や学習内容の吟味等をすすめ、着実な学力向上を目指していく必要があります。

また、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、肯定的な回答割合は全国平均よりも高くなりましたが、「当てはまる」と回答した割合は減少しています。コロナ禍で様々な活動の制約がありますが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら必要な資質・能力を身に付けていくことができるようキャリア教育等の充実を図る必要があります。

さらに、ICT機器を活用した指導方法等の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図る必要があります。

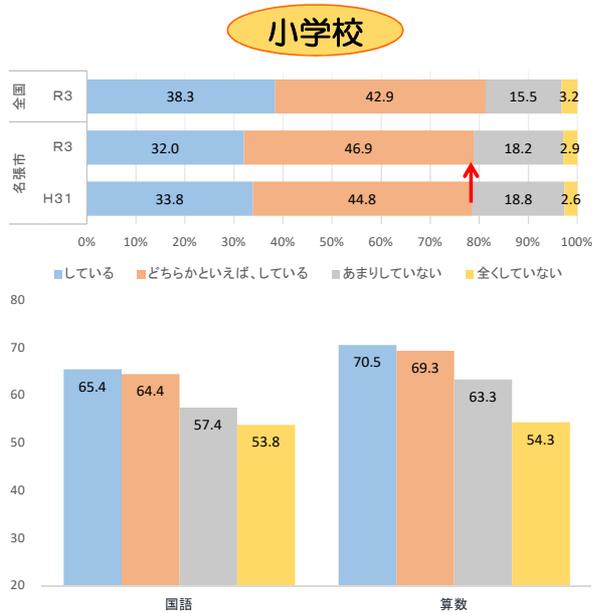
## (2) 生活習慣に関すること

### ①朝食を毎日食べていますか。



肯定的回答が、中学校で前回調査より減少していますが、小・中学校とも全国よりやや高い結果となっています。

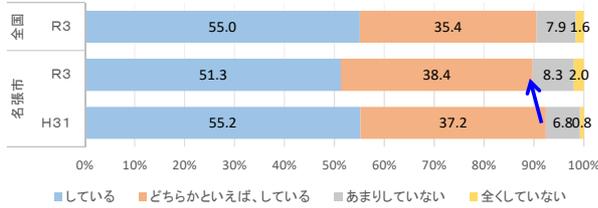
### ②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



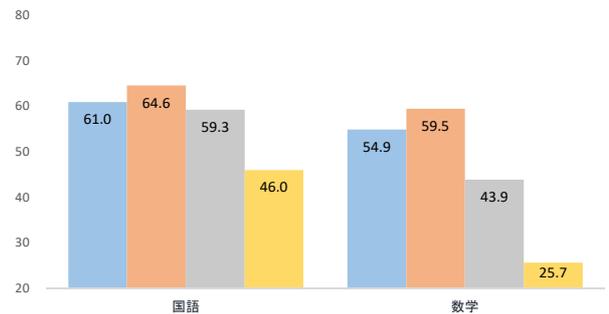
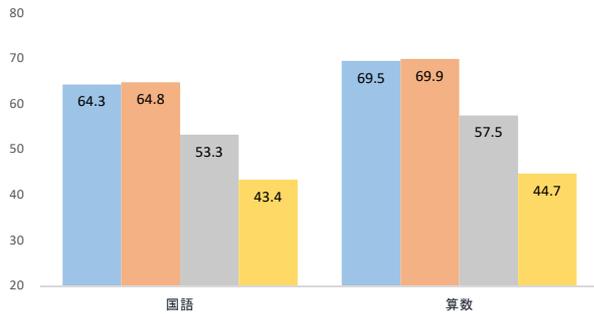
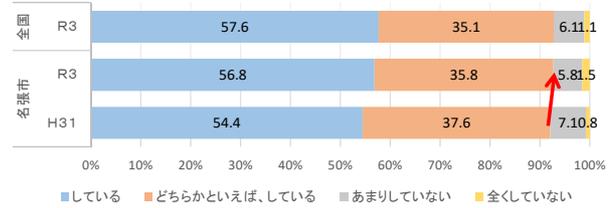
肯定的回答が、中学校で全国より高くなっています。前回調査と比べると、小・中学校ともに増加しています。

③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

小学校



中学校

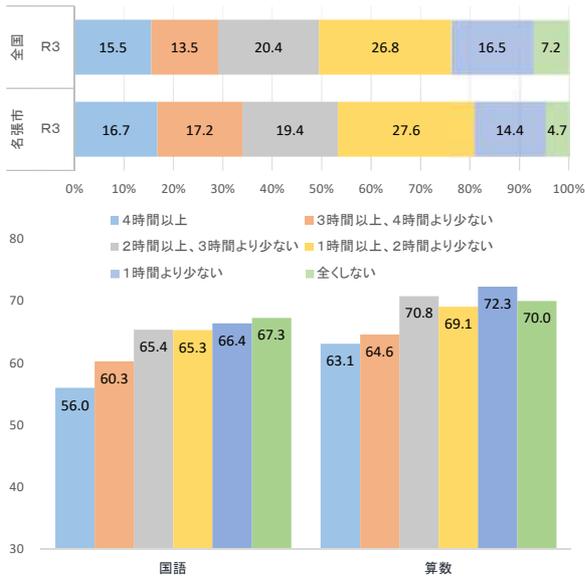


肯定的回答が、小・中学校ともに全国よりやや低くなっています。前回調査と比べると、小学校では減少し、中学校では増加しています。

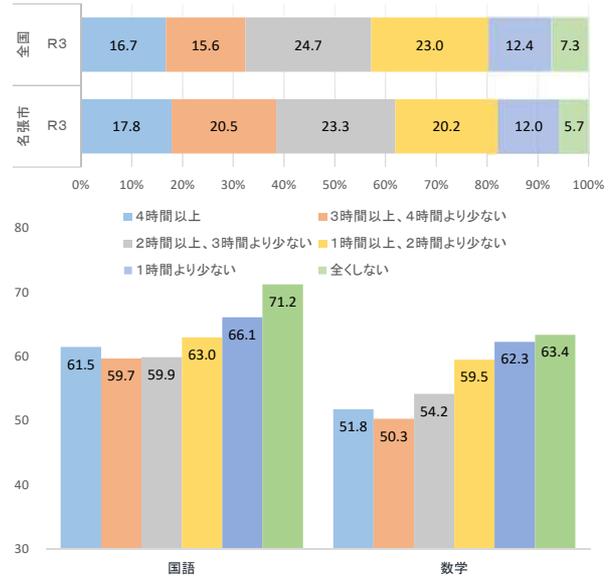
④普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。

※令和3年度に新設されました。

小学校



中学校



小・中学校とも、長時間ゲームをすると回答した割合が全国より高くなっています。

### 【生活習慣で特徴的なこと】

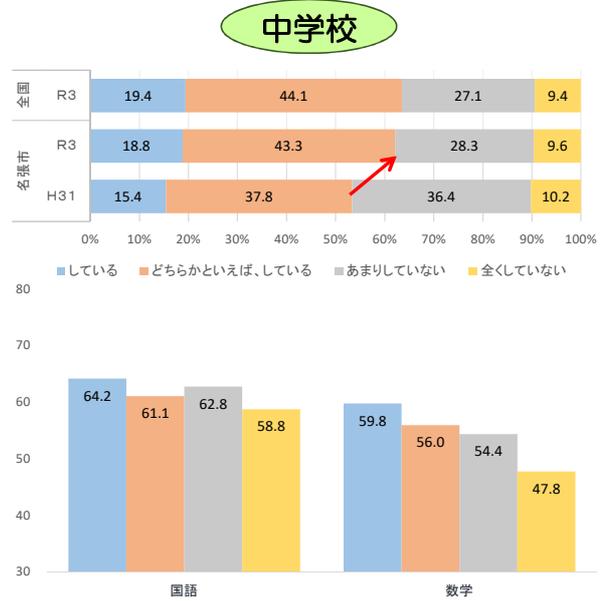
- ・「朝食を毎日食べていますか。」の質問に対して、肯定的な回答割合は、小・中学校ともに全国平均よりやや高い。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」という質問に対する肯定的な回答割合は、小・中学校とも前回調査より高い。
- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。」という質問に対して、長時間するとの回答が全国より高い。

☞ 上記のクロス集計から分かりますが、家庭での生活習慣と、学力には強い相関関係があります。今年度より新設された④「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話等を使ったゲームも含む）をしますか。」のクロス集計をみても、ゲームを「4時間以上する」と回答した児童生徒と、「全くしない」と回答した児童生徒との各教科の平均正答率を比較すると小・中学校ともおよそ10ポイント程度の差がみられます。

児童生徒の健やかな成長のためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。こうした生活習慣を身に付けていくためには家庭の果たすべき役割は大きいところです。学校と家庭がこれまで以上に連携を強化し、生活習慣の確立や生活リズムの向上を学習意欲の向上につなげる必要があります。

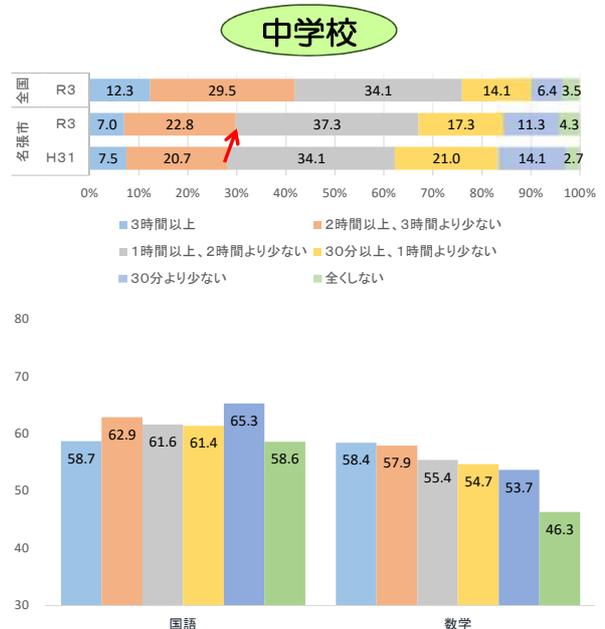
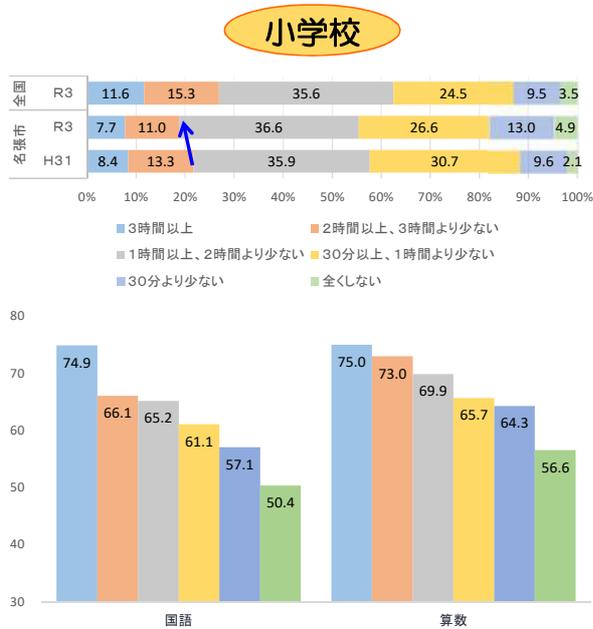
### (3) 家庭学習に関すること

#### ①家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



肯定的回答が、全国と比べると小・中学校とも低くなっていますが、前回調査より増加しています。

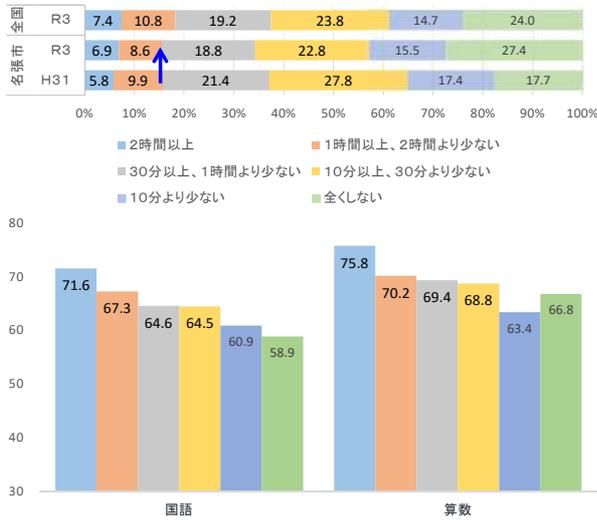
#### ②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



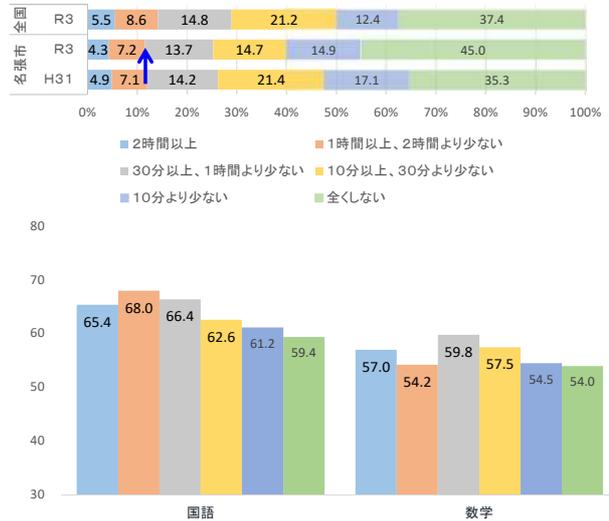
全国より低い傾向が続いています。前回調査と比べると、学習時間が（2時間以上）と回答した児童生徒の割合が、小学校で減少し、中学校で増加しています。

③学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

### 小学校



### 中学校

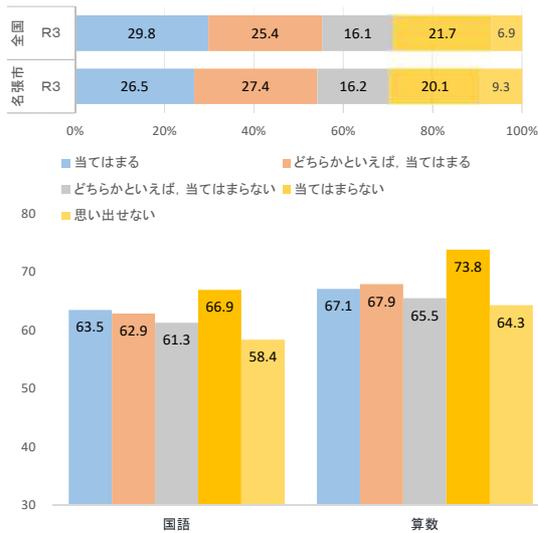


👉 全国より低い傾向が続いています。前回調査と比べると、読書時間が（1時間以上）と回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともやや減少しています。

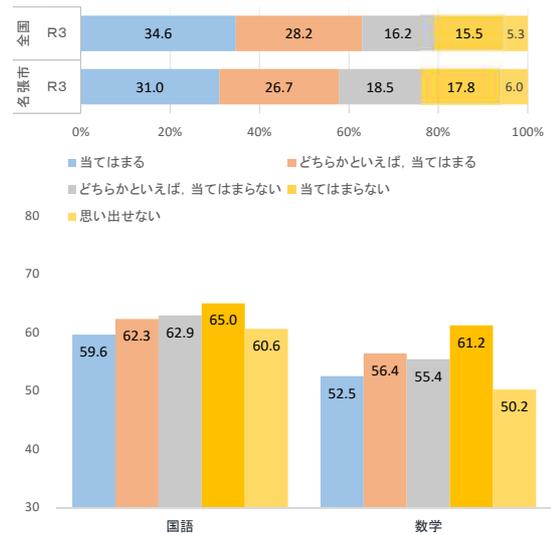
④新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間、勉強について不安を感じましたか。

※令和3年度に新設されました。

### 小学校



### 中学校



👉 小・中学校とも、全国より低い結果となっていますが、5割近い児童生徒が不安を感じていることがわかります。

### 【家庭学習について特徴的なこと】

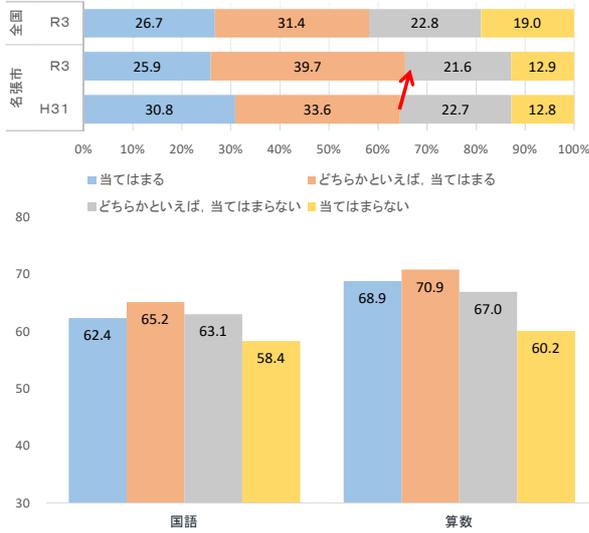
- ・「自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という質問に対する肯定的な回答が、小・中学校ともに前回調査より増加している。
- ・平日の家庭学習の時間について、全国と比べると小・中学校ともに、「2時間以上」学習をする割合が低く、「1時間以内」しかない割合が全国より高い傾向が続いている。
- ・読書する時間について、全国と比べると「1時間以上」する割合は小・中学校とも低くなっている。読書を全くしないと回答した割合は増加している。

☞ 本市の児童生徒の家庭における学習時間が、全国平均に比べて短いという結果でした。調査結果には、学習塾での学習時間が含まれている為、正確な家庭における学習時間ではありませんが、トータルでは短いということになります。また、読書の時間も全国平均より総じて短いという結果です。今後、ICT機器等の活用も視野に入れ、宿題や自主学習等のあり方や内容について見直し、家庭での学習習慣・読書習慣の定着に向けて、家庭と連携して取り組んでいく必要があります。

#### (4) 地域貢献・社会貢献に関すること

##### ①今住んでいる地域の行事に参加していますか。

###### 小学校



###### 中学校



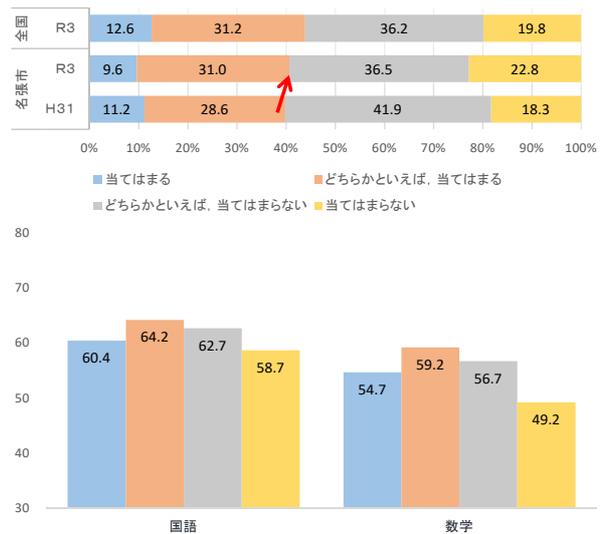
肯定的回答が、小・中学校ともに全国より高く、前回調査と比べても小・中学校とも増加しています。

##### ②地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。

###### 小学校

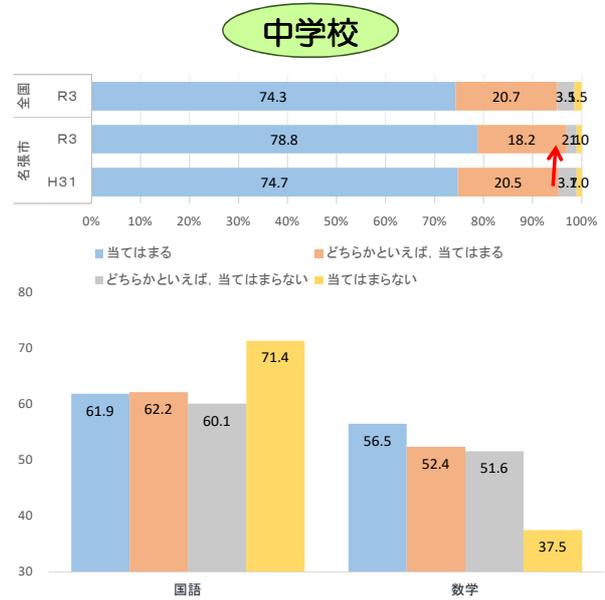
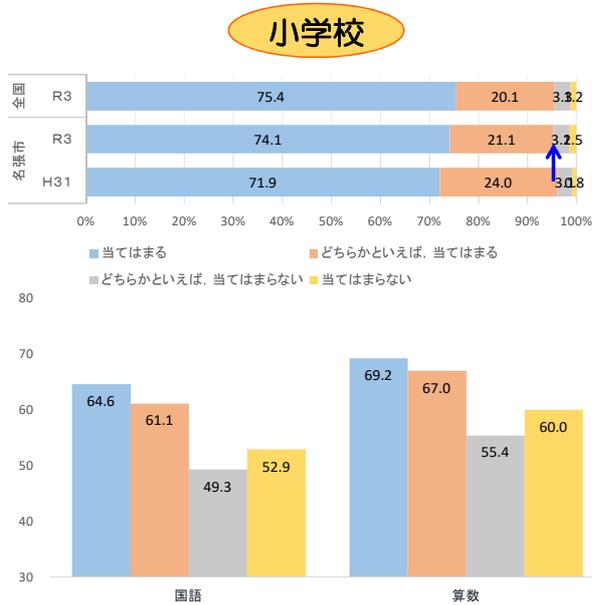


###### 中学校



肯定的回答が、小・中学校とも全国より低くなっていますが、前回調査からは小・中学校とも増加しています。

③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



肯定的回答が、全国と比べると小学校ではやや低く、中学校では高くなっています。前回調査より小学校はやや減少し、中学校では増加しています。

【地域貢献・社会貢献について特徴的なこと】

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」という質問に対する肯定的な回答割合は、小・中学校とも全国より高く、前回調査より増加している。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という質問に対する肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、全国と比べると、小・中学校とも低くなっているが、前回調査より小・中学校とも増加している。
- ・人の役に立つ人間になりたいと考えている児童生徒の割合が、小学校で前回調査よりやや減少している。中学校では、全国より高く、前回調査からも増加している。

地域の行事への参加について、前回調査では小・中学校ともに全国平均を下回る結果でしたが、今年度は上回りました。また、地域や社会をよくするために何をすべきかを考える子どもが前回調査より増加していることから、ふるさと学習等により、自分の住んでいるふるさとへの興味・関心が高まっていることが伺えます。  
また、本市の子どもたちの貢献心は小・中学校ともに95%を超え、よい傾向が続いています。

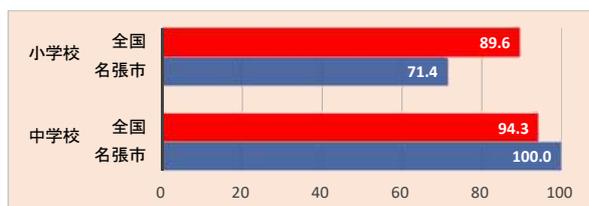
## 4 学校質問紙調査結果の特徴的な傾向と分析

「学校質問紙調査」とは、学校における指導方法に関する取組や、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査です。

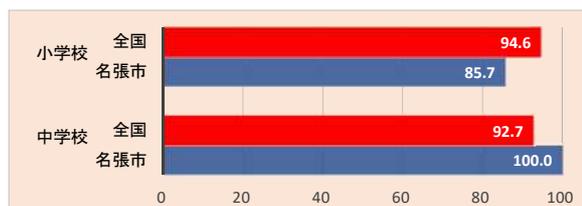
ここでは、「学校質問紙調査」のうち、特徴的な資料をいくつか示し、その傾向と分析を記載しています。

※質問項目の後に（ ）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（%）

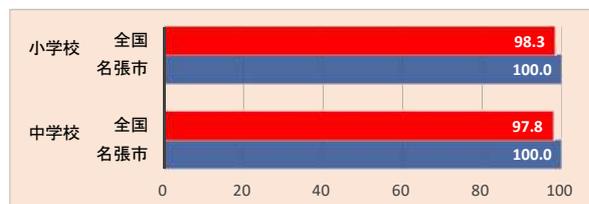
①調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか。



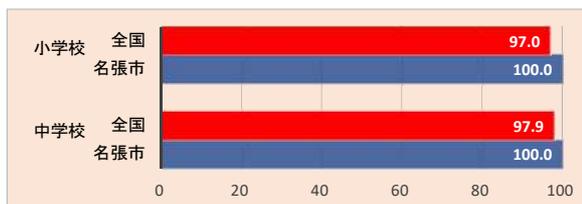
②調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。



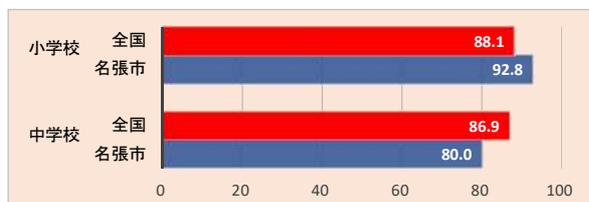
③調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童（生徒）に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。



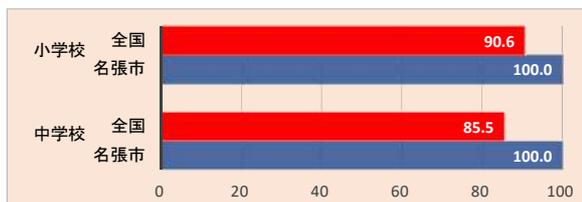
④調査対象学年の児童（生徒）に対して、特別の教科 道徳において、児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。



⑤調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。



⑥調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。



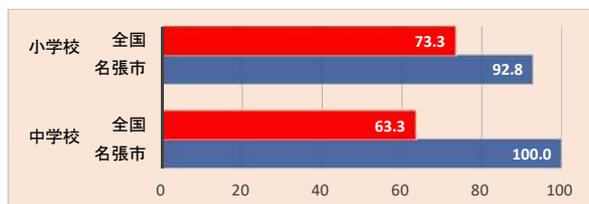
⑦前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。



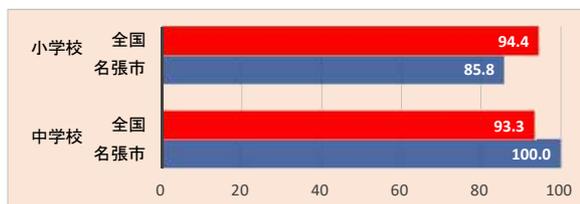
⑧平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校（中学校）と成果や課題を共有しましたか。



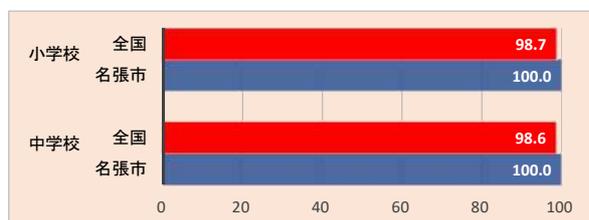
⑨地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動（学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など）を行いましたか。



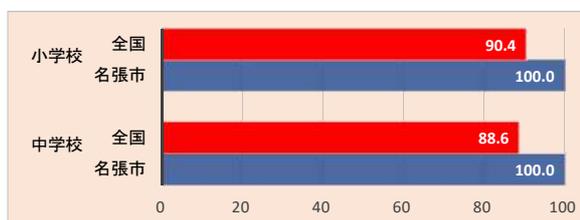
⑩学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童（生徒）に対する授業の中で、児童（生徒）の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか。



⑪調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか。



⑫コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか。



※質問項目の後に（ ）のない場合、グラフの数値は、学校が「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合（%）

#### 【学校質問紙調査について特徴的なこと】

- ・国語では、問題文をしっかりと読み取り、目的に応じて自分の考えを書いたり、条件を満たして書いたりできるような学習の指導が必要である。
- ・算数では、補充的な学習の指導について全国平均との差がみられる。基礎的な知識・技能を確実に身に付けさせ、定着を図りながら、児童生徒の実態に応じ、発展的な学習の指導を行い活用力をつけていく必要がある。
- ・授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れているかについては、小中学校とも100%で、全国平均を上回っている。調査対象学年だけでなく、学校全体の取組へとつなげていくとともに、活動の質を高めていく必要がある。
- ・家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図っているかについては、小中学校ともに100%で、全国平均を上回っている。しかし、家庭学習の時間は全国平均に比べ少ない現状もあるので、課題の課し方についてさらに工夫が必要である。
- ・コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人との協働による活動は、全国平均を上回り、高い数値を示している。各学校において、学校運営協議会が核となり、学校・保護者・地域住民が、地域の子どもたちの学びと育ちに関わる当事者として、「学校運営」「学校支援」等において、さらに連携・協働し、取組を充実させていく必要がある。
- ・すべての中学校区において小中一貫教育が実施されていることもあり、近隣の小学校（中学校）と教育目標を共有する取組や本調査の分析結果（成果や課題）の共有等については、全国より進んでいる。しかし、小学校と中学校の数値に差があるため、目的意識をしっかりとって取り組む必要がある。
- ・ICT機器等を活用した授業を行う準備ができていくかについては、小中学校ともに100%で、全国平均を上回っている。今後は、ICT機器等を効果的に活用した授業改善を進めていく必要がある。

## 5 成果、課題と今後の取組について

名張市教育委員会では、平成28年度から第二次名張市子ども教育ビジョン（平成28年3月策定）に基づき、「夢をはぐくみ 心豊かで 元気な 『ばりっ子』」を目指す子ども像に、さまざまな取組を進めているところです。

子どもたちの確かな学力の向上をめざし、数年来取り組んできた『学力向上3本の矢』（①めあての明示と振り返りのある授業、②日常的な言語活動の充実、③充実した家庭学習）については、一定成果がみられました。しかし、「令和元年度名張市『学習・生活』アンケート」の結果から、『学力向上3本の矢』に係る項目の肯定的な回答割合が減少したことや、学校全体としての取組になっていないなどの課題もみられたため、昨年度の重点取組として取り組み、肯定的な回答は増加しました。しかし、依然として学校による取組に課題が残りました。

そこで本年度は、学力・体力調査活用検討委員会が作成した資料を活用しながら、「めあての明示と振り返りのある授業」を学校全体の取組にしていくとともに、その質を高め、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組んでいるところです。

子どもたちにとってわかる授業づくりを進めることにより、子どもたちの学習意欲と学力の向上をめざすとともに、子どもたちの生きる力を育て、中学卒業時には十分な学力を培うことをめざしています。

これまでの本市の小中学校の取組の結果、本年度の調査で以下のような成果が現われています。

- 国語において、小学校では、「漢字」「主語と述語の関係」「修飾と被修飾の関係」などの「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域における正答率が全国平均より高くなりました。中学校では、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くなどの「書く」の領域における正答率が全国とほぼ同じで、三重県平均より高くなりました。  
算数・数学において、小学校では棒グラフから数量や項目間の関係を読み取るなどの「データ活用」の領域、中学校では「関数」の領域において、正答率が全国平均に迫る結果となりました。  
本年度の中学3年生の生徒が小学校6年生時の結果と比較してみると、国語、算数・数学ともに、3年前の全国比より伸びが見られ、よい傾向がここ数年続いています。
- 各教科の無解答率について、本年度は小中学校ともすべての教科で全国平均より低いよい結果となりました。また、児童生徒質問紙調査からも、各教科の調査において「最後まで書く努力をした」と回答した児童生徒が多く、諦めずに粘り強く取り組む力が培われていると考えられます。
- 児童生徒質問紙調査において、「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対し肯定的な回答を行った児童生徒の割合は、小中学校ともすべての教科で全国平均を上回りました。授業改善により児童生徒の学習意欲の向上が進んでいる成果といえます。

しかし、同時に以下のような課題もあります。

- 国語において、小学校では、目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けるなど「読むこと」の領域、中学校でも、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考え方をもつなどの「読むこと」の領域について正答率が低く、弱みが見られます。  
小学校算数では、直角三角形の面積や二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積などの「図形」の領域、中学校でも、扇形の弧の長さや示された四角形が平行四辺形であることを説明するなどの「図形」の領域に弱みが見られます。

- 無解答率については、全体的に見ると改善されてきていますが、10%を超える問題（最大24.2%）や全国平均より高い問題があることが課題です。長い文章を短時間で読み解く力、問題に取り組むペース配分等がより一層必要になってきます。
- 家庭生活では、学習時間が短く、読書習慣も定着していない現状が本年度も見られます。自ら意欲的に家庭学習に取り組もうとする態度にまで高め、学力向上に結びつけるための工夫した手立て・支援が求められます。

このような課題克服のため、「第二次名張市子ども教育ビジョン」の方針に基づき、さらなる学力の向上に向けた以下の取組をすすめます。

#### <教職員の指導力の向上とたゆまぬ授業改善>

これまでに引き続き、学力向上に向けた効果的な指導方法を全教職員で共有し、『魅力ある学校づくり』をベースにして、『学力向上3本の矢』（めあての明示と振り返りのある授業、言語活動の充実、充実した家庭学習）や『主体的・対話的で深い学び』の視点、『ユニバーサルデザイン』の視点を意識するなど、わかる授業づくりのための授業改善を進めていきます。また、一人ひとりの定着の状況をふまえ、少人数指導（習熟度別指導）または個別指導を一層強化するとともに、ICT機器を効果的に活用していきます。これらのことが、子どもたちにとっても、教職員にとっても、“やればできる”という実感、達成感や自信につながるよう、学校長のリーダーシップのもと、全校体制で学力向上に取り組んでいきます。さらに、教育委員会の指導主事が積極的に学校を訪問し、学力向上のための各学校の今後の取組の聞き取りや授業参観等を実施し、具体的な指導・助言をするなど、直接的な学校支援を行います。また、教育の今日的課題の解決や授業改善を目指した研修を実施し、教職員の資質や指導力の向上を図ります。

#### <PDCAサイクルの確立>

全国学力・学習状況調査の結果について、該当学年・教科担当者だけでなく、全校体制での自校採点、分析によって自校の強みと弱みの把握に努めるとともに、弱みを克服するための学習指導・学習支援を早い段階から積極的に行います。

すべての学校、学年、学級、教科の担当者が、すべての子どもたちにその学年で身につけるべき学力の確実な定着を図り、進級・進学させるために、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用して年度内に自校の取組を検証し、次なる授業改善に生かします。また、学習内容の理解と定着の確認を大切にし、学校体制での系統的・継続的な取組、教職員の意欲的かつ主体的な取組を推進していきます。

#### <小中一貫教育の推進>

「名張市子ども教育ビジョン（後期計画）」においても、前期計画に引き続き「小中一貫教育の推進」を重点取組の一つとしており、グランドデザイン及び推進カリキュラムに基づき、義務教育9年間の系統性・連続性を確保した学習指導の充実を図ることで、学力向上をめざすこととしています。すべての教職員が9年間の学習等について具体的なイメージをもち、当該学年における指導の充実や指導方法の改善を図るとともに、校内はもちろん、校種の枠を越えた指導・教育を行うことにより、子どもたちの学びと育ちを保障し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育てていきます。

#### <コミュニティ・スクールの推進>

家庭学習の定着、読書習慣化の取組はもとより、食生活の改善、地域貢献の場の設定等、学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、子どもの生活習慣改善や学力の向上等、豊かな成長を支えていくための大きな推進力となるよう、一体となって取組を進めていきます。また、地域づくり組織等において進める、地域学校協働活動（子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動等）とも連携・協働し、自己有用感等の学びの土台となる資質・能力を培っていきます。